

3年次で「筑波大学見学会」を実施しました。

◆今回の記事は、3年次担任の細井先生（国語担当）が書いてくれました。

9月21日（木）3年次生で「筑波大学見学会」を実施しました。内容は、①大学の紹介 ②村上正秀名誉教授の講演会「衛星に搭載した極低温に冷やした望遠鏡で宇宙を見る」 ③学生食堂体験 ④クラスごとに研究施設見学（計算科学研究センター、プラズマ研究センター、研究基盤総合センター加速器部門、研究基盤総合センター低温部門） ⑤坂口綾准教授の模擬講義「ケーキ屋さんから研究者!？」でした。

大学見学や模擬授業を体験することにより、進路に対する考えを深め、進路選択に役立てるのと同時に、総合学習におけるキャリア教育の一環として、実際に社会的機関を訪問することにより、社会と個人のつながりについて理解を深めるという目的に沿ったものになったと思います。また、大学とはどのような場所かを知っておくことにより、4・5年次のオープンキャンパスがより充実したものになることと思われます。

5名の生徒の振り返りの「R80」を紹介します。

- ◆筑波大学を見学して、自分のやりたいことをとことんやる姿を見て、素晴らしいと思った。また、それを他人に説明する能力が高く、自分も身につけたいと思う。
- ◆今回、すぐに役立つことではないことを一生懸命やることで後の研究や勉強につながることを知った。つまり、まずは目の前のことをやり遂げることが大切なのだと思う。
- ◆大学というものには夢があり、とても楽しいところなのだと思う。だからこのチャンスが無駄にしないように、しっかりと進路のことを考えることがとても大切だと思う。
- ◆自分の持っていた知識や経験と、見学で新しく知った内容がつながったことがうれしかった。だから、自分の中で進路をもっと視野を広げて考えたいと思った。
- ◆最初の中3で進路を考える見学会に行くのは少し早すぎるのではと思っていた。しかし、早いうちに進路を考えることは高校受験のない学校でしかできない特別な体験だと感じた。

